

* スモモヒメシクイの発生園は、4月下旬にナシヒメコン(10a 当り100本)を設置する。尚、太陽(含む)以降の品種では7月上旬に再度設置する。

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
/	3月中旬 (発芽前)	① スプレーオイル トレノックスフロアブル	2ℓ 200mℓ	発芽前 14日前	- 3回	300	ふくろみ病 カイガラムシ類	①【ふくろみ病 対策】トレノックスFに代えて、ホーマイコート(休眠期、1回)を使用する。 ②【カイガラムシ対策】 アプロードフロアブル 1,000倍(14日前、2回)を加用する。
/	開花始め (1~2輪咲き)	②(展着剤) ICボルドー412	3.3kg	-	-	350	黒斑病 かいはよう病	① 黒斑病発生園は、展着剤にアピオン-Eの 1,000 倍を使用する。
/	落花後	③展着剤 スコア顆粒水和剤 アグレプト水和剤	10mℓ 33g 100g	前日 30日前	2回 2回	400	灰星病 黒斑病、かいはよう病	①【アブラムシ対策】 ウララDF2000 倍(7日前、2回)を加用する。 ②【農家在庫 整理】 オルフィンプラスフロアブル(3000 倍、前日、3回)の在庫がある場合は、スコア顆粒水和剤に代えて、使用してもよい。
/	5月上旬 (前回より10日後)	④展着剤 サムコルフロアブル10 ウララ DF マイコシールド	10mℓ 40mℓ 50g 50g	3日前 7日前 21日前	3回 2回 3回	400	黒斑病(かいはよう病) ケムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類	①5月末までの農薬散布は、葉・果実とも軟弱であり、(時間帯・薬液量等)十分注意する。
/	5月中旬 (前回より10日後)	⑤展着剤 モスピラン顆粒水溶剤 イカズチ WDG アグレプト水和剤	10mℓ 25g 66g 100g	前日 前日 30日前	3回 2回 2回	400	黒斑病、かいはよう病 シンクイムシ類 アブラムシ類	①アグレプト水和剤、アグリマイシン-100 はぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。 ②【カイガラムシ対策】 アプロードフロアブル 1000 倍(14日前、2回)を加用する。
/	5月下旬 (前回より10日後)	⑥展着剤 バイスロイドEW マイコシールド	10mℓ 33mℓ 50g	14日前 21日前	2回 3回	500	黒斑病(かいはよう病) アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①摘果果実は、腐敗病、シンクイムシ類の伝染源になりやすいため、園外へ除去する。葉・果実とも軟弱であり、散布の時間帯・薬液量等十分に注意する
/	6月上旬 (前回より10日後)	⑦展着剤 アーデントフロアブル ダーズバンDF マイコシールド	10mℓ 50mℓ 33g 50g	前日 14日前 21日前	3回 2回 3回	500	黒斑病(かいはよう病) シンクイムシ類 ウメシロカイガラムシ	①大石早生は、マイコシールドを除いてよい。(収穫前使用規制厳守)
/	6月中旬 (前回より10日後)	⑧展着剤 ベルコートフロアブル エクシレルSE	10mℓ 50mℓ 40mℓ	3日前 前日	3回 3回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①【黒斑病(かいはよう病)対策】 バリダシン液剤5の 500 倍(3日前、4回)又はスターナ水和剤 1000 倍(7日前、3回)を加用する。
/	6月下旬 (前回より10日後)	⑨展着剤 オンリーワンフロアブル バリアード顆粒水和剤	10mℓ 50mℓ 50g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 アブラムシ類 (シンクイムシ類)	
/	7月上旬 (前回より10日後)	⑩ (展着剤-まくびか) バイスロイドEW ベルコートフロアブル	33mℓ 50mℓ	14日前 3日前	2回 3回	500	灰星病 アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①今回以降の展着剤は、シリコーン系展着剤まくびか 5000 倍を使用してもよい。(湿展性改善、果粉溶脱、果実汚染防止、など) ②紅りょうぜん等の収穫時期が近い品種は、バイスロイドEWに代えてテツパン液剤の 2000 倍(前日、2回)を使用する。
/	7月中旬 (前回より10日後)	⑪ (まくびか) ヨーバルフロアブル アルバリン顆粒水溶剤	20mℓ 50g	前日 前日	2回 3回	500	シンクイムシ類 カメムシ類、ケムシ類 アブラムシ類	①【黒斑病(かいはよう病)対策】 バリダシン液剤5の 500 倍(3日前、4回)又はスターナ水和剤 1000 倍(7日前、3回)を加用する。
/	7月下旬 (前回より10日後)	⑫ (まくびか) フリントフロアブル 25 バリアード顆粒水和剤	50mℓ 50g	前日 前日	2回 2回	500	灰星病(すす点病) アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①【黒斑病(かいはよう病)対策】 バリダシン液剤 5 の 500 倍(3日前、4回)を加用する。
/	8月上旬 (前回より10日後)	⑬ (まくびか) イカズチWDG	66g	前日	2回	500	シンクイムシ類	
/	8月中旬 (前回より10日後)	⑭ (まくびか) パレード 15 フロアブル アーデントフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 前日	2回 3回	500	灰星病(すす点病) ハダニ類 シンクイムシ類 (ケムシ類)	
/	8月下旬 (前回より10日後)	⑮ (まくびか) オンリーワンフロアブル エクシレルSE	50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①【シンクイムシ類対策】 モスピラン顆粒水溶剤 2000 倍(前日、3回)を加用する。

* 晩生種 特別散布 : 9月上旬 ・パレード 15 フロアブルの 2000 倍(前日、2回)とアーデントフロアブル 2000 倍(前日、3回)を散布する。

/	収穫終了後 2~3回の 防除	⑯・⑰ (展着剤) ICボルドー412	3.3kg	-	-	400	黒斑病 かいはよう病	①【黒斑病(かいはよう病)対策】 展着剤アピオン-Eの 1000 倍を使用する。 ②【落葉後~萌芽前までの防除】 コスカシバの防除はトラサイドA乳剤200倍を(収穫後~発芽前、2回)を樹幹部及び主枝に散布する。
/	【特別散布】 落葉後 (11月下旬以降)	スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	- -	300	(ふくろみ病) カイガラムシ類	①この散布は、次年度発芽前の防除が積雪の影響で遅れる園地で実施する。

◆混用例 : 展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ フロアブル ⇒ ドライフロアブル(DF) ⇒ 顆粒水和剤(WDG) ⇒ 水和剤

* 当防除暦の複製・コピーを禁止します。